

平成12年10月18日

スマイル会レジメ

## 環境と開発

堀尾哲一郎

### 1. 人類の危機

成長の限界 ローマクラブ(1972)ダイヤモンド社

「成長の限界」を超えて

- 21世紀企業成長戦略「スーパー・エコイノベーション」-

クロード・フスレ/ピーター・ジェームス

日科技連出版社(1999)

文明が衰亡するとき 高坂正堯 新調選書(1981)

### 2. 21世紀は環境革命(地球益)の時代か?

伊東俊太郎(科学史の先生)

200万年前から1万年前:人類革命(2本足、火、道具)

1万年前から5千年前:農業革命(計画的食料生産)

紀元前3500年から紀元前1500年:都市革命(4大古代文明)

紀元前8世紀から紀元前4世紀:精神革命(大哲学者、思想家、宗教家の輩出)

17世紀から現在まで:科学革命(人間と自然を対峙)

### 3. 「持続可能な開発」

1987年の「環境と開発に関する世界委員会(ブルントラント委員会)(UNEPの特別理事会で設置)」の報告で発表されてから広く認識されるようになった。

- 将来の世代が、欲求を自らの力で満たす能力を損なうことがなく、現代の世代の欲求をも満たすことができるような開発 -

### 4. 環境と開発に関する国連会議(地球サミット)

1992.6. リオデジャネイロ

1972年の国連人間会議(ストックホルム)の20周年

約180の国と地域の政府代表と国連機関が参加

約8000のNGOが集合

合計4万人

「持続可能な開発」の基本理念が共通認識

環境と開発に関するリオ宣言

気候変動枠組み条約

生物多様性保護条約

森林原則宣言

アジェンダ 21

## 5. 南北問題

開発途上国の環境支援のための資金問題

温室効果ガスの排出抑制問題

世界人口の20%がエネルギーの80%を消費している

国家とは何か？

IT革命による南北間の経済格差の解消

## 6. 倫理

企業倫理、技術者倫理、政治倫理、銀行倫理...・精神論ではなく倫理規定化

JOCの臨界事故、荏原製作所のダイオキシン垂流し、三菱自動車のリコール隠し、雪印乳業の乳製品中毒

環境倫理（資源有限、次世代配慮、生物尊重）

地球益、大陸益、国家益、地域益、公共益、家族益、個人益

## 7. 技術開発の方向

・サービスを向上させながら省エネを図る - 自動車の燃費向上、E S C  
Oビジネス

・今までの後始末 - 汚染土壌の回復

## 8. 循環型社会の構築

・環境負荷の「足跡」

- 米国に代表される先進国の生活スタイルが大きな負担に -  
各国毎の1人当たりの環境負荷 - 共通のものさし -

バングラデッシュ 対 米国

ワッカーナーゲル（オランダの科学者）とリース（カナダの研究者）

- 生活で使われる物やサービスをつくるのに、食料や鉱物資源、エネルギーなどをどの程度必要とするか、さまざまな生態系の機能を確保するため

に、土地や海洋がどの程度必要なのかを分析し面積に換算した。

( 図 - 米国に代表される先進国の生活スタイルが大きな負担に )

東京だけで日本の利用可能面積の 9 . 2 倍が必要

移動手段 ( 車 ) 、 食料 ( 肉、 トマト )

・ エネルギーの未来図 ( ブラウン )

炭素から太陽と水素へ - 化石燃料から再生可能エネルギーへ -  
トウモロコシ栽培 ( 1 0 ドル ) から風力発電 ( 2 0 0 0 ドル ) へ  
集中型発電からマイクロ発電へ

・ 表 - 世界と日本の環境対策

・ 表 - 過去 1 0 年間の環境関連法の主な動き

・ 循環関連 6 法

「循環型社会基本法」 2 0 0 0 年 6 月施行

「廃棄物処理法」 ( 改正 ) 2 0 0 0 年 1 0 月施行 ( 一部を除く )

「資源有効利用促進法」 2 0 0 1 年 4 月から施行

「建設資材リサイクル法」 2 0 0 2 年 6 月までに施行

「食品リサイクル法」 2 0 0 1 年 6 月までに施行

「グリーン購入法」 2 0 0 1 年 4 月までに施行

拡大生産者責任と排出者責任

「容器包装リサイクル法」 1 9 9 7 年 4 月施行 ( 特定容器 : アルミ・スチール缶、ガラスビン、PET ボトルなど、紙パック、段ボール 特定包装 : 包装紙、食品ラップ )

「家電リサイクル法」 2 0 0 1 年 4 月施行 ( テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン )

・ 図 - エコツリー

## 9 . 世界の動きの具体例

- ・「夜明けの町」の挑戦：インド南部の町 オーロピ 1968年に始まった活動 - 自然の力を最大限に生かす知恵
  
- ・「理想の都市を設計する」：クリティバ市(サンパウロ市南西300km、人口260万人)のバスサービスシステム
  - \* 340ルート(1100km)一つのバスレーンで1時間に2万人運ぶ、1日1万7300回、37万km運行、路面電車の1/10のコスト、新設が容易。
  
- ・自然汚染
  - \* エベレストはごみの山 野口 健
  
- ・東京都の動き(石原慎太郎)
  - \* 東京だけで、毎日12万本の粉塵
  - \* 現代人はギリシャ神話のタンタロス：際限のない欲望を抑えきれない
  
- ・エコマネー：金銭では表せない「善意」を交換する通貨
  
- ・エコタウン(循環型社会実現の試み)
  
- ・社会的責任投資(SRI)
  - \* エコファンドなど
  
- ・サステナビリティ報告書(英国のシンクタンクのサステナビリティと米国のGRI(グローバル・リポーティング・イニシアティブ)が共同で開発：社会的責任、環境的健全性、経済的に可能なビジネス
  
- ・環境報告書(標準化)
  
- ・ライフサイクルアセスメント(LCA)
  - \* 図 - 乗用車の例
  - \* 図 - 飲料容器の例
  
- ・炭素税(化石資源消費の抑制)

- ・ E S C Oビジネス（エネルギー消費の総合評価による省エネ）
- ・ モーダルシフト（自動車から鉄道）
- ・ コージェネレーション（発電時の排蒸気の再利用による利用効率の上昇）
- ・ 動脈産業と静脈産業の融合化
- ・ 水道哲学の反省

#### 10．結論

企業益の中に地球益を組み込んだ企業経営（新しい会計原則の導入）をわれわれひとり一人が支持すること。

以上